

学校の教育目標	よく考える子 思いやりのある子 進んで働く子 体力のある子
---------	----------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
(1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。 (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。 (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
地域の自然の素晴らしさやそれを守る人々の工夫が分かる。	地域や学校の歴史やよさとそれに携わる人々の願いが分かる。
情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。	地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。
目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。	目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。
事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。	視点を明確にして整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。
相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。
学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。	学習の仕方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。
学びに向かう力・人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。	課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。
課題解決に向けて、身近な人々を合わせて探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。
自分のよさや自分にできることに気付いている。	探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとしている。
自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解する。	異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる。
自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。	探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。

内 容	学習対象	学習テーマ	時数
第3学年	身近な昆虫や蚕などの生き物や自然 世界の文化国際交流 地域の安全な場所・危険な場所	生き物大好き、大発見 世界のスポーツを調べよう 江戸川大好き(安全マップ)	11 11 13
第4学年	地域に暮らす高齢者との関わり 身近な自然環境とそこに起きている環境問題 ものづくりの面白さや工夫と生活の発展	高齢者にやさしいまちを目指して 見つめよう環境問題 日本と世界の伝統文化を調べよう	13 10 12
第5学年	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観 情報化の進展とそれに伴う日常生活の変化 最高学年に向けて自己を見つめ直す	世界の人々と共に生きる コンピューターで楽しもう 上小岩小学校の伝統を受け継ぐ	12 13 10
第6学年	創造の面白さや工夫・仲間との絆 障害者理解と差別の解消 実社会で働く人々の姿と自己の将来	上小岩小学校の伝統を守る/世界の国と文化 住みよいまちづくりとユニバーサルデザイン 未来へ向かって	10 13 12

学習活動	指導体制	学習の評価
地域の実態を踏まえ課題を設定する。 地域の人・もの・ことを生かした学習活動を行う。 学習成果を表現する場を設定する。 3年生は主に自然、学校・地域に関わる内容とする。 4年生は福祉、環境、ものづくりを主な内容とする。 5年生は情報、国際理解を主な内容とする。 6年生は福祉、キャリア教育を主な内容とする。	各担任や専科教諭との連携 チームティーチングの活用 地域人材との連携 ゲストティーチャーの活用	ポートフォリオを活用した評価の充実 個人内評価の重視 指導と評価の一体化の充実 学年末における指導計画の評価の実施

